

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐南工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月24日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐南工業高等学校 校長室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	山 口 禎一郎	山口鋼業株式会社
副 会 長	後 藤 潤 一	同窓会長
委 員	青 山 訓 子	岐阜県美術館 (欠席)
	透 千 保	アナウンサー
	溝 川 哲 哉	PTA会長
学 校 側	佐 藤 尚 史	学校長
	宇佐美 理恵子	事務部長
	阿 部 光 明	教頭
	福 永 繁 隆	教務主任
	山 田 秀 樹	生徒指導主事
	石 井 正 人	進路指導主事
	加 藤 勝 彦	総務部長 (欠席)
	稲 葉 尚 人	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和7年度学校運営協議会 会長、副会長の互選について
- (2) 令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画について
- (3) 各分掌の方針と重点について
- (4) 本校への提言と意見交換

○演劇等ワークショップについて

意見1：1対多数の場面では、自分の思ったことを言葉で発することが難しいことから、そういった場を多数設けていくことが良いのではないかと感じた。また、2年生、3年生と継続して実施することができれば、コミュニケーション能力が身に付いたかの追跡調査もできるため実施できると良い。

意見2：クラスの仲間の前ではあるが、照れることなく頑張っている姿が見られた。勉強や部活動以外でのこうした活動を体験することが、良い刺激となるのではないかと感

じた。

意見3：コミュニケーション向上のチャンスは増えると思うが、受け手側の生徒がそういった体験に慣れていないため、大きな効果が期待できるかは疑問符がつく。劇団の演劇や音楽をそのまま鑑賞するなど、感じるチャンスを増やしたほうが良いのではないかな。

○その他

意見1：中学生の保護者が、工業高校は「怖い」というイメージを持たれているようだ。色々な場面で学校を紹介し、そういったイメージを払拭できると良い。

意見2：「つるっとたまご」など、企業と開発した商品が実際に世の中に出ていく喜びというものを生徒は感じることはできたのではないかな。私は卒業生ではないが本校の活躍をうれしく感じた。

意見3：コミュニケーション不足の原因は、小中学校での体感することが希薄になったからではないかと考える。感動する体験ができていないまま育っているため、純粋に感動したことを表現することができなくなっているのではないかな。教育現場においても、バーチャルやAIなどを活用した疑似体験は時間短縮等では効果的だが、実際に体験・体感させることも大切である。

意見4：授業や行事、日頃の挨拶ひとつ取ってみても、大人や教員が楽しい、わくわくしている姿を見せることが大切なのではないかなと思う。

意見5：教職員が生徒のことを考え、自由な発想で授業や行事を実施することで、本校の独自性・相違性・個性というものに繋がっていく。是非頑張ってもらいたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。協議では、生徒の様子や本校の取組についての意見、および今後の発展への期待が多く寄せられた。本会議を踏まえ、委員の意見を参考にして今後の学校運営に役立てるとともに、本校の取組を中学生や地域に広く伝える活動を強化したい。